

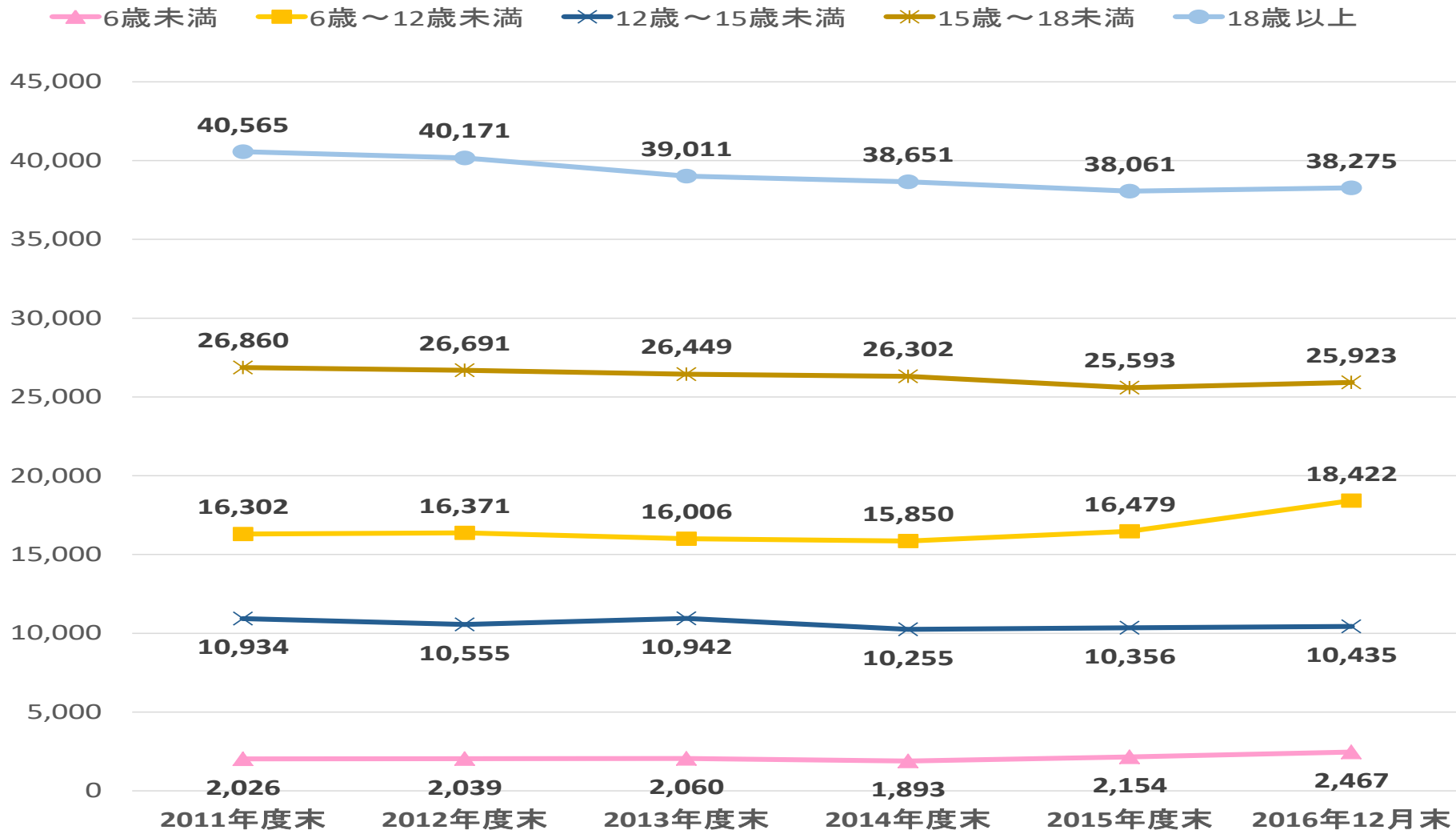


普及戦略2016-2020

する・みる・ささえる・あつまる・つながる

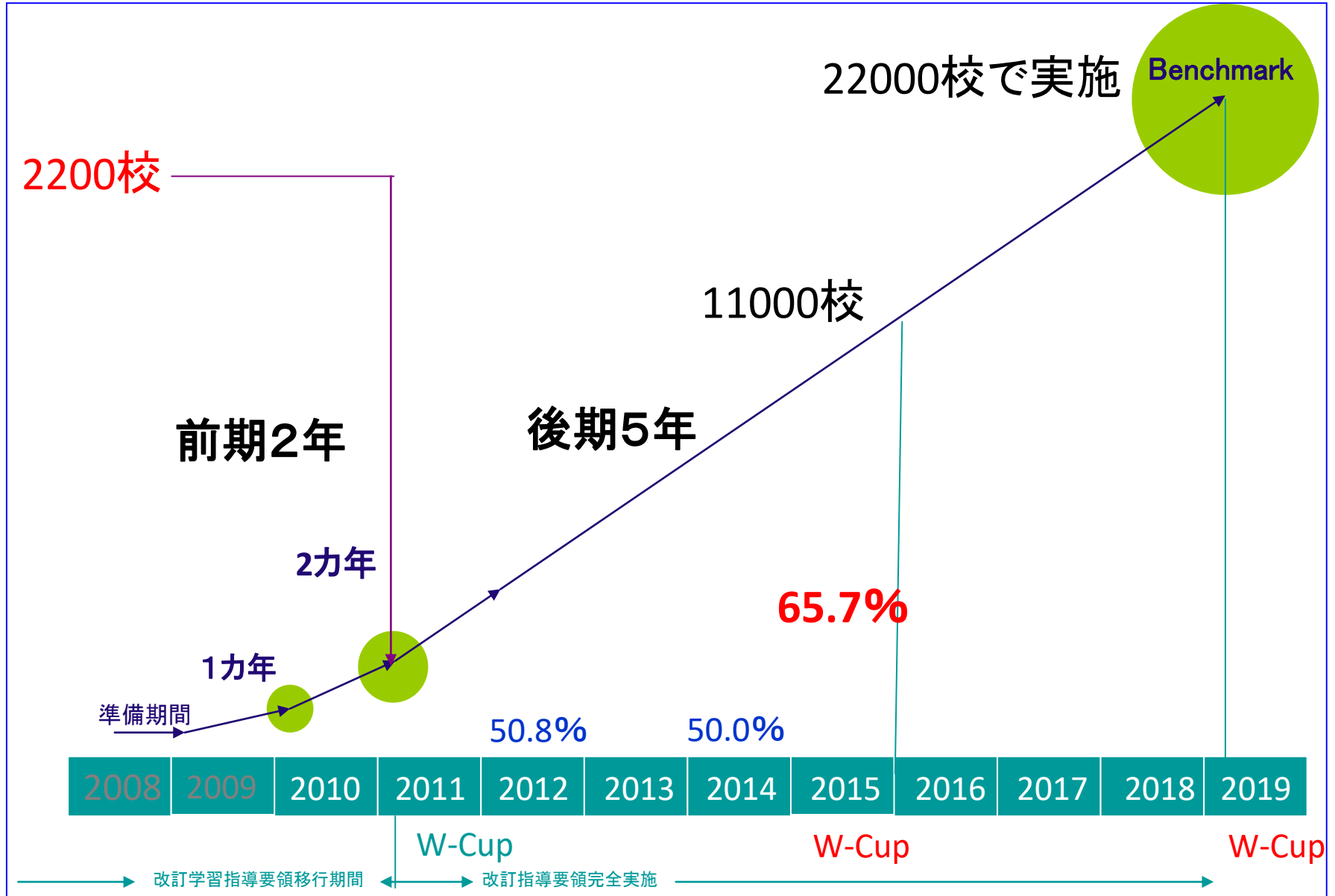
公益財団法人日本ラグビーフットボール協会

登録プレイヤー数の推移

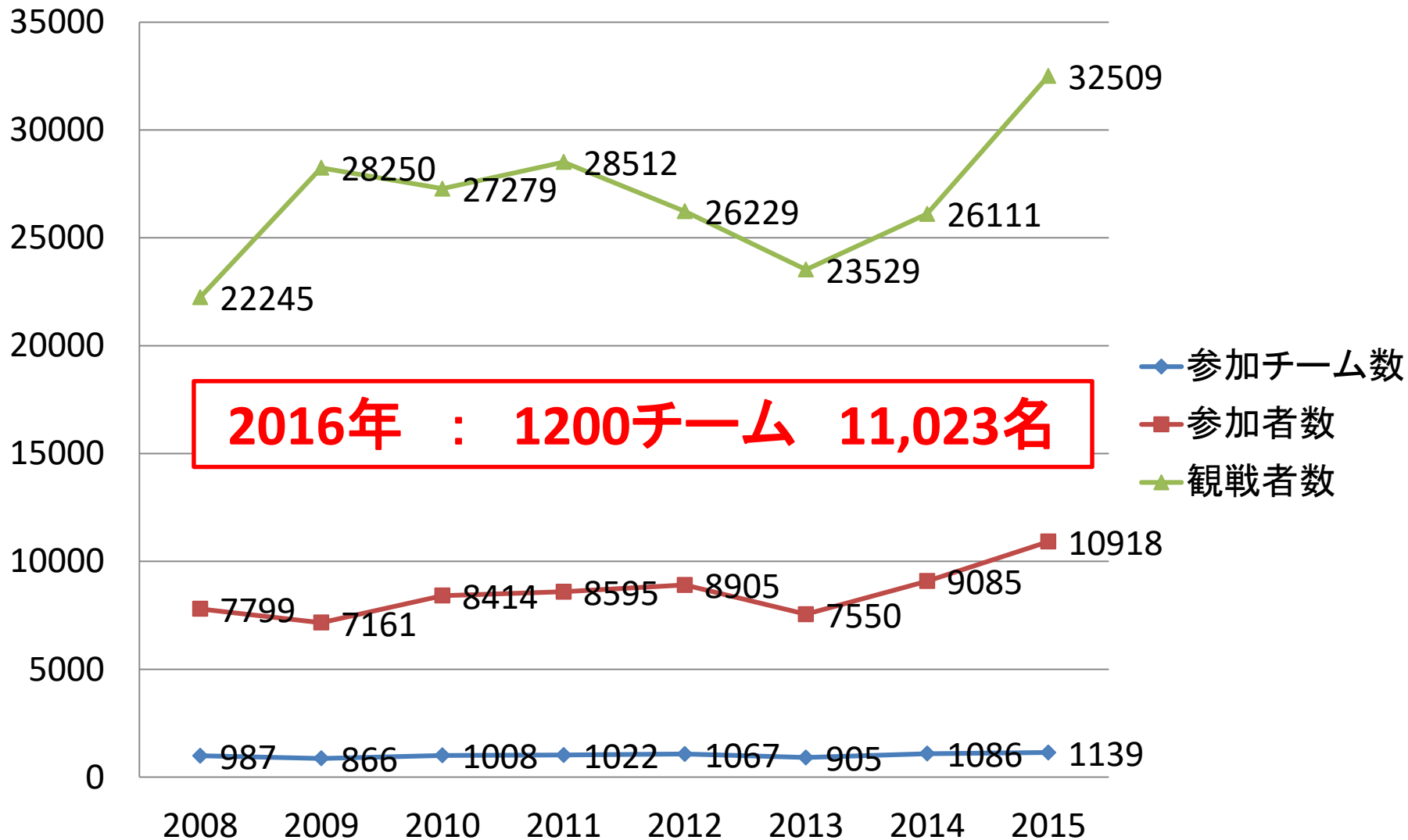


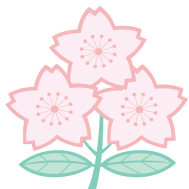
男性:91393名 女性:4129名 合計95522名(2016年12月現在)

小学校におけるタグラグビー実施率



サントリーカップ 全国小学生タグラグビー選手権大会 参加者・参加チーム・観戦者数の推移





する・みる



学校体育でのタグラグビー普及

- ◆全国小学校、660万人の小学生にタグラグビーを普及
- ◆タグティーチャー講習会の展開
- ◆中学校保健体育へのタグラグビー導入に向けた活動

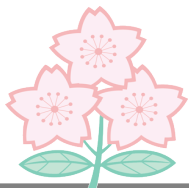
ラグビー教育コンテンツの推進

- ◆道徳や総合学習など体育以外の教科における教材の開発と紹介
- ◆RWC2019推進教育セミナーの開催
- ◆プレーヤーの学校訪問



国際交流プログラム

- ◆JENESYSにおけるASEAN少年少女タグラグビー交流プログラム
- ◆開催都市・ベースキャンプでの国際交流
- ◆アジアに駐在する日本人ラグビーコミュニティ及び日本人学校での現地交流



ささえる・あつまる・つながる

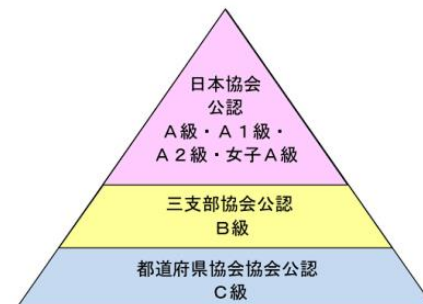


プレイヤーの育成

- ◆ Get Into Rugby / ラグビー体験プログラム
- ◆ 中学生放課後ラグビープログラム
- ◆ エイジグレード大会
- ◆ Rugby Link (ラグビー関連団体連携)

ラグビーをささえる人財づくり

- ◆ コーチ資格制度の発展
- ◆ レフリーの育成
- ◆ Regional Development Officerやクラブマネージャーの養成と配置
- ◆ 大会ボランティアの養成



次世代リーダーの養成

- ◆ グローバル人材養成を目指す国際交流
- ◆ 企業や自治体のタグラグビーなどを活用した若手社員研修

普及育成の4つの柱

ラグビーの参画者拡大 と コアバリュー・ラグビー精神の普及

柱	対象	テーマ	実践者
1 「普及」基盤の整備 ・RDO制度 ・Get into Rugby ・学校体育を通じた普及 ・体験会 ・イベント ・情報交流基盤整備		非登録者を含む 普及戦略	すべての協会・チーム関係者 教員・指導員・愛好者
2 「育成」環境の整備 ・チームと競技者の育成 ・大会整備 ・指導者/レフリーの育成 ・コアバリュー ・インテグリティ ・安全		登録者向けの 育成戦略	すべての協会・チーム関係者 コーチ・レフリー
3 RWC開催都市/キャンプ地との 連携による普及 ・関心層を取り込む機会づくり ・ワークショップを通じた地域活性		拠点地 特化型戦略	拠点地の自治体・協会 コミュニティ団体・リーダー
4 ラグビー関連団体との連携 ・元経験者の新しい楽しみ方 ・多様なラグビーとのラグビーリンク	ウィルチェア STラグビー、チョイラグ etc. + 元・ラグビー経験者	他団体 融合型戦略	各種ラグビー関連団体 元選手やOB会等

Promotion - Development - RWC2019 - Rugby Link